

議発第4号

東京女子医科大学掛川キャンパスに係る決議について

掛川市議会は、東京女子医科大学掛川キャンパスについて、裏面のとおり決議する。

令和3年7月2日提出

提出者

掛川市議会議員

松本均
石川紀子
大井正
富田まゆみ
嶺岡慎悟
寺田幸弘
山本行男

安田彰
鷺山記世
山田浩司
勝川志保子
藤澤恭子
山本裕三
草賀章吉

橋本勝弘
高橋篤仁
藤原正光
松浦昌巳
鈴木久裕
窪野愛子
二村禮一

東京女子医科大学掛川キャンパスに係る決議

東京女子医科大学は、郷土の偉人である吉岡彌生先生が創設した日本唯一の女子医科大学で、平成10年から生誕の地に看護学部1年次のキャンパスを設置し、令和2年3月までの間、地域医療の推進や地域振興に大きく寄与してきた。令和2年4月以降は、新宿区河田町にキャンパスを移し、当地には「生涯健康総合支援センター」を設置し今後の活用が期待されていた。

しかし、大学側から本年2月に掛川キャンパス完全閉鎖の申し入れがされ、市民に衝撃と失望を与えるとともに、跡地の活用も含め多くの注目が集まっている。

東京女子医科大学の誘致は、行政、議会、町民が一丸となって成功させ、20年以上にわたって地域住民との交流等を通し良好な関係を築き上げてきた。新型コロナウイルス感染症の影響を受け経営上の判断ということであるが、今回の掛川キャンパスの完全閉鎖問題は残念でならない。

今後の掛川キャンパスをめぐる協議においては、誘致の経緯や地域住民の思いを念頭に置き、「至誠一貫」の精神で大学側と市の双方が納得いく話し合いの場を持ち、今後のあり方を導き出すこと。また、それに際して、将来にわたり東京女子医科大学が本市の地域医療に関し、持続的な関係をもつことを基本に置くよう強く求める。

令和3年7月2日

掛 川 市 議 会